

社会学への招待

社会学という名前は聞いたことがあっても、どのような学びをするのかわからないという人は多いと思います。社会学がどのような学問なのかをわかりやすくお話しします。また、本学社会学部社会学専攻での学びの特徴もお話しします。きっと本学で社会学を学びたくなるはずです。

社会学のまなざし：社会の調べ方、測り方

私たちは、毎日、意識するとしないに関わらず、社会と関係しながら生活し、主に自分の身の回りで起きた出来事に基づいて「社会とはこういうものだ」というイメージを形成しています。しかし、社会調査をしてみると、そのようなイメージが、実は偏っていたり、間違っていたりすることが少なくありません。本講義では、身近な問題についての社会調査を紹介し、私たちの抱えている社会イメージがいかに不完全なものなのかを示すことで、社会調査の有用性について解説します。

社会学のまなざし：現代社会を読み解く

私たちが生きている現代社会はどのような社会でしょうか？恋愛や友人関係といった身の回りのこと、家族や仕事という生きる上で大切なこと、国際化や環境問題といったグローバル化の中で重要となってきた課題、遊園地や都市のように人を惹きつける空間、そして犯罪や差別のような社会問題。社会学はそうした現代社会のさまざまな側面を考える学問です。本講義では、多様で多元的な現代社会を教員それぞれの研究領域のキーワードを切り口として読み解いていきます。社会学のまなざしを通して今までとは違う現代社会の姿をのぞいてみましょう。

社会学のまなざし：少子高齢社会を生きる

少子化、高齢化がますます進む日本社会は、人口減少という大きな転換期を迎えています。また、社会全体が大きく変容している時代でもあります。具体的には、経済の停滞、非正規雇用の増大、家族の変化、地域のつながりの低下など、私たちの生活の安定や維持を妨げる要因が数多く出現しています。個人の生活を守り、持続可能な社会を目指すためには、どのような社会福祉 / 社会保障制度が必要なのでしょう。皆さんの今日と明日についてともに考えましょう。

心理学への招待：怒りと叱り



我々はなぜ怒りを感じるのか、怒りを表出することで他者との関係はどのように変化するのか、怒りと叱りの違いはなにか。怒りと叱りの原因、実態、その影響過程について心理学的な観点から分析し、自分あるいは他者の怒りと叱りを理解することを目指します。

心理学への招待：笑いとユーモアの心理学

人は何を笑うのか？なぜ笑うのか？笑う時、体と心には何が生じているのか？笑いはストレス対処にどう寄与するのか？笑いは対人関係にどのような影響を与えるのか？などといった笑いとうもろこしに関する疑問について、笑いを感情としてとらえる観点から解説します。

心理学への招待：ショッピングを科学する！衝動買いはなぜ起きるのか



なぜ「期間限定」や「人気商品」などの札(POP広告)がつくと、その商品が魅力的に見えるのでしょうか。松・竹・梅だと「竹」を選ぶ人が多いのはなぜでしょうか。また、なぜ欲しくもないモノを衝動的に買ってしまったりするのでしょうか。本講義では、こうした皆さんの消費生活を取り巻く身近な諸問題を取り上げ、そのような行動に至った心のメカニズムについて、易しくそしてユーモラスに解説します。(4月～9月出講不可)

心理学への招待：記憶の仕組み

記憶は、人間の認知活動の中で最も重要な機能です。学校での知識の習得はもちろんのこと、日々の日常生活を暮らしていく上でも、自分自身がどのような人間かという自己意識を保つ上でも必要です。本講義では、このような記憶の仕組みや記憶の障害の研究についてお話しします。

心理学への招待：他者を信じるこころ

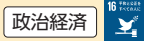
私たち人間は、多くの人々と、さまざまな形で関わり合いながら生活しています。毎日挨拶だけする相手もいれば、頻繁には連絡をとらなくても、いざという時頼りにする「信頼できる」相手もいるでしょう。本講義では、人と人のつながり(社会的ネットワーク)と社会的信頼の役割についてお話しします。

心理学への招待：こころとからだの関係



私たちの心と身体は密接に結びついています。心の状態が、心拍数や、汗や体温の変化として身体に現れますし、逆に、体の状態によって、私たちの心理も左右されます。本講義では、そのような心と身体の関係を通して心の仕組みに迫る生理心理学という分野から、心理学の一部を紹介します。

心理学への招待：刑事裁判と心理学



心理学が明らかにした心の仕組みを、社会の現実で起こる問題に応用するのが本講義です。裁判という現実現場で、例えば目撃証言の評価や、裁判員制度の運用などで心理学を使うとどのようなことがわかるのか、またできるのかについて紹介します。

心理学への招待：わたしとあなたの違いのしくみ

友達と同じ経験をして、考え方や感じ方が違うことはないでしょうか？性格は人それぞれですし、同じ景色を見ても注目している場所が違っていたり、記憶した内容が異なったりすることもあります。どのような個人差がどう生活に影響を与えるか解説します。

心理学への招待：テストと偏差値の仕組み

テストとは何か、偏差値とは何かについて解説します。偏差値は高校生にとって一般的な指標ですが、その詳細は十分知られていないと思います。偏差値の特徴やその仕組みを知ることで、より適切かつ具体的な解釈をすることができるようになるでしょう。

心理学への招待：心理調査と統計法—聞きにくいことを調査する



調査を行う際、薬物使用の経験など回答者にとって答えにくい質問をしたい場合があります。これらを直接尋ねても、恐らく正直な答えは期待できないでしょう。そこで、統計的方法を用いて、個人のプライバシーに配慮しつつ統計調査を実施する方法について紹介します。

心理学への招待：自分のキャリアの創り方

先行きが不透明で将来の予測が困難な昨今、将来のキャリア(生きること・働くこと)について考えることは非常に困難です。そこで本講義では、キャリアに関する心理学的研究を紹介することで、自身のキャリアを考えていくための枠組みを提供します。

感情との上手な付き合い方



人は誰しも、時々不安になったり落ち込んだりします。こうした感情は、学業や人間関係を含め、日常生活にさまざまな影響を及ぼします。本講義では、感情との上手な付き合い方について紹介します。

**心理学への招待：
カウンセリングですること・目指すこと**

カウンセリングにおいて、カウンセラーは何をなのでしょう。何を目指すのでしょうか。他の対人援助職との違い、つまりカウンセリングの専門性や特殊性について、2つの例え話を題材に、皆さんのグループディスカッションを通じて一緒に考えていきましょう。

心理学への招待：脳を知り心を知る



各種メディアで脳に関する情報があふれる昨今では、私たちの脳と心が密接な関係を持っていることに疑問を抱く人はいないでしょう。しかしながら、必ずしも正しい知識が広まっているわけではなく、脳に関する誤解や迷信は未だに多く存在しています。本講義ではさまざまな事例を通して脳を正しく理解するための基礎知識を紹介します。

線形代数による心理・行動データサイエンス入門 数学

昨今、データサイエンスが社会的に注目されています。本講義では、高校でも馴染みの深い線形代数を活用して、データを分析するためのさまざまな分析法がどのように定義されているか、どのように実行されているかを学びます。また、心理・行動に関するデータに分析法を適用して、どのような結果が得られるかを体験します。

メディア社会の現在

マス・コミュニケーションおよびメディア社会の見方について、具体例を取り上げながらお話しします。マス・コミュニケーションやメディア社会について学ぶ意義、おもしろさをお伝えすることができると思います。また、メディア・リテラシーについてのお話することもできます。具体的には、ジャーナリズム、新聞、放送、広告、インターネット、メディア文化などの中から、受講生にふさわしいものを選びます。

ジャーナリズムとは何か

新聞、放送、インターネットなどさまざまなメディアを通じて、社会の動きがニュースとして伝えられています。ジャーナリズムとは何か、ジャーナリズムが果たす役割とは何かについて、具体例を取り上げながらお話しします。

現代社会における広告

広告は私たちの生活のさまざまな場面に浸透しています。広告はどのように作られ、社会の中でどのような働きをしているのか、具体例を取り上げながらお話しします。

インターネット社会とは

インターネットが情報配信・共有の主流となった社会について、どのように考えたらよいのか、インターネットとどのように付き合い合っていけばよいのか、具体例を取り上げながらお話しします。

メディア文化の現在

スポーツ、音楽、映画、テレビ、アニメ、コミックなど、現代のメディアを介した文化の見方について、具体例を取り上げながらお話しします。メディア文化を学ぶ意義、おもしろさをお伝えすることができます。

経営管理論への招待

経営管理論は経営者や管理者の視点から、組織の目的達成の方法を考える学問です。効率的な生産方法だけでなく、人々にやる気を出させるにはどうすればよいかなど、経営管理論の基本的な理論を解説するとともに、企業が生き残りをかけて展開する経営戦略についても考えます。

ゲームで学ぶ経済現象

2年生以上



受講生の皆さんに経済取引に関するゲームに参加していただき、商品の値段がどのようにして決まるのか、法律で取引が禁じられている商品の販売を撲滅する(減らす)にはどのようなルールを使ったらよいのか、日本経済がかつて経験したバブル経済はどのように発生するのかを体感的に勉強します。

J-POPを社会学・経済学で分析する

J-POPを経済学、社会学、経営学、技術論などの視点から総合的に考察していきます。最近、躍進のめざましいBTSなどのK-POPとの比較、サブスクリプションやライブビジネスの可能性、CDはいつまで残るのかなどの問題をわかりやすく説明します。

なぜ大学で勉強するのか - 人的資本の観点から -



大学進学率は、今や60%に迫っています。なぜ大学に進学するのでしょうか。本講義では、経済学を用いて、人的資本の観点から、大学で学ぶことの効果を分析する方法を学ぶと同時に、なぜ勉強するのかを考える材料を提供します。

迷信と科学



「科学的に証明されている」とは、新聞や雑誌でよく見る言葉ですが、これはどのような意味でしょうか。また、迷信、ニセ科学を信じることで、社会にどのような影響があるのでしょうか。本講義では、迷信やニセ科学の具体的な事例を提示しながら、科学と社会の関係について理解を深めます。

高齢者の介護・生活支援と社会システムデザイン

高齢者の介護・生活支援において、国や地域社会・家族・ボランティアは、どのような役割を果たすべきでしょうか。社会システムをデザインするという観点から検討します。

働かせ方から働き方を考える



どのような仕事に配属されるか、給料はいくらになるか。結婚や出産後も働き続けることはできるのか。このような人に関わる事柄を扱う人的資源管理は、働かせ方の仕組みとも言えます。これから仕事に就く皆さんは、働かせ方を知った上で、自分の働き方を考えることが必要です。そのための第一歩を提供します。